

SPECIAL EVENT (オンライン) **1月30日(土)、31日(日)**
全国から参加可能な大型国際協カイベント



外務省とJICA、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）の3者共催による国際協力共同キャンペーン「EARTH CAMP ～輪になって語ろう。地球の未来。～」が開催中だ。このキャンペーンは、2020年10月6日（国際協力の日）から21年3月までを開催期間とし、国際協力や国際交流に関するオンラインイベントを中心に情報を発信している。

このキャンペーンの目玉となるイベントを1月30日と31日の2日間開催する。本誌『mundi』連載「地球ギャラリー」で寄稿していただいたカメラマンのお二人も登場。多くの国際協力・国際交流イベントが中止や延期になるなか、あらためてみんなで途上国が抱えるさまざまな課題や問題点を考えよう！

1月30日(土)のイベント登壇
予定のさかなクン(左)、
1月31日(日)のイベント登壇
予定のヤマザキマリさん(右)。



- 【メインイベント内容】
- ・3者共催パネルディスカッション——現在のコロナ禍において「今、日本が、私たちができること」
 - ・外務省フォトコンテスト表彰式
 - ・「さかなクンと学ぼう！海でつながっている世界。みんなの海を守るために～モーリシャスの現場から～」
 - ・「ソウゾウするちから～世界を変える！未来をひらく！スポーツのチカラ～」
 - ・「地球ギャラリー 写真で旅する世界～ファイナダー越しの途上国～」
 - ・「羽ばたけ！世界のサッカー女子！～性別や環境の壁を超えて～」
 - ・「SDGsワークショップ 世界の課題を知ろう！～青年海外協力隊の写真から学ぶSDGs～」*30名（先着順）
 - ・「JICA・国連WFPワークショップ～食べるから世界を考える～」
 - ・NGOによるオンラインスタディツアー

●EARTH CAMPメインイベント
日時：2021年1月30日(土)、31日(日)
両日とも10:30～18:00
会場：オンライン上 [詳細はこちら](#)

参加費無料。
詳細はEARTH CAMPウェブサイトまで。

JICA北海道(札幌)(オンライン)

1月23日(土) 映像と音楽で伝える紛争地域の人びとの姿



「地球のステージ」は、ボランティア医師として被災地を中心に国内外で活躍する桑山紀彦さんが案内役を務める非営利のコンサートステージ。これまで全国の学校やJICA海外協力隊の訓練所で10年以上にわたり公演を重ねている。今回は北海道から、世界の紛争・災害地域で出会った人びとの姿をオリジナルの歌と映像で伝える。

●地球のステージ 北海道・キリバス編
～世界とつながる海外協力隊～
日時：2021年1月23日(土)
18:00～20:00
会場：オンライン上（YouTube配信）
参加費無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA北海道（札幌）まで。

●第4回 多文化共生講座(フィリピン編)
日時：2021年1月31日(日) 10:00～13:00
会場：香南市吉川防災コミュニティセンター
高知県香南市吉川町吉原287-1
またはオンライン上（Zoom使用）

参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA四国まで。



JICA四国(オンライン参加可)
フィリピンの文化を知ろう 1月31日(日)

JICAは、さまざまな国の文化や歴史などについて理解を深めるために多文化共生講座を定期的に開催している。今回はフィリピン編とし、現地でコミュニティ開発を指導していたJICA海外協力隊員の体験談が語られるほか、香南市在住の外国人をゲストに招く。世界との距離を縮めて視野を広げよう。



前回の様子。

JICA埼玉デスク(オンライン)
教員同士で理解を深めるSDGs 1月31日(日)

SDGsをどのように学校現場に取り入れ、子どもたちの学習にどうつなげるかをテーマに、教員に向けたオンラインイベントを開催する。令和時代の教育を考える講演や、実際にSDGsに取り組んでいる学校の教員による事例発表なども行う。小・中・高・特別支援の希望のグループを選択して参加でき、教え方や教科ごとの対応など、授業を行ううえでヒントが詰まった実践的な内容となっている。



前回の様子。

●教員のためのSDGs勉強会2021
日時：2021年1月31日(日)
13:00～16:30
(12:45受け付け開始)
会場：オンライン上（Zoom使用）
参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA埼玉デスクまで。



JICA埼玉デスク(オンライン)
SDGs×教育×多様性 2月14日(日)



2019年のセミナーの様子。

埼玉NGOネットワークとJICA東京が共催で、SDGsや教育の多様性について考えるセミナーを開催する。SDGsの現状とSDGs達成目標とされている10年後を考える講演や、地域で育むパートナーシップの活動内容、企業やNGOの取り組みなどを聞くことができる。参加者によるグループワークもあり、問題解決に向けて一緒に考える参加型の講座となっている。

●グローバルセミナー2021
～地域と育むパートナーシップ～
日時：2021年2月14日(日)
13:00～16:45
(12:30受け付け開始)
会場：オンライン上（Zoom使用）
参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA埼玉デスクまで。

申し込み、
詳細はこちら



本の新着情報



『絵はがきにされた少年(新版)』
毎日新聞記者として南アフリカ共和国のヨハネスブルクに駐在した著者が、自身の取材記録をオムニバス形式でつづったもの。原著は2005年に集英社から出版され、同年の「第3回 開高健ノンフィクション賞」を受賞した。冒頭の「あるカメラマンの死」では「ハゲワシと少女」という写真で注目されたあとに自殺したカメラマンの苦悩や、世に知られたものとはまた異なるその撮影状況が語られている。原著から15年を経ても色あせない、アフリカの現実を知る手がかりとなる一冊。

●「絵はがきにされた少年(新版)」
藤原章生 著 / 柏艸舎 1,700円(税別)

『草原の国キルギスで勇者になった男』

行方不明になった友人を捜しにフィリピンへ行ったことがきっかけで海外や冒険に興味を持ったという著者は、自称「冒険家」として、おもに途上国で動物と一緒に旅をしている。今回の舞台は中央アジアに位置するキルギス。日本では想像できないような数々の困難に遭いながらも、並外れた体力とコミュニケーション能力でそれらに立ち向かっていく。RPG（ロールプレイングゲーム）の主人公に憧れた著者ならではの新鮮なノンフィクション。



●「草原の国キルギスで勇者になった男」
春間 豪太郎 著 / 新潮社
1,900円(税別)

読者
プレゼント
詳細は
p.38へ

『ブータンにデジタル工房を設置した』

南アジアに位置するブータンは国内市場が小さく交通の便が悪いため、高い輸送コストや長期の物資調達期間が国内産業の成長を妨げていた。本書は、そんなブータンでデジタルデータを利用したものが可能な施設をつくり、現地の就業機会の創出にも貢献したJICAの技術協力プロジェクト「デジタルものづくり（デジタル・ファブリケーション）」の経緯をつづったもの。現地地で3年間、JICA事務所長として事業を支えた著者の奮闘記は、他国で開発協力を展開する際にも参考となる。



●「ブータンにデジタル工房を設置した」
山田浩司 著 / インプレスR&D
製本版 2,200円(税別)、
電子書籍版 1,980円(税別)

読者
プレゼント
詳細は
p.38へ